



ちがさきサポセン

こどたん 2019 特集号

NEWSLETTER



▶開催日：2019年3月30日(土) 10:30～15:00 @茅ヶ崎市総合体育館

42 団体参加、51 ブース出展、約 3,800 名 来場

たくさんの笑顔に出会えた、「こどたん 2019」！

今回初めて開催した「こどもたいけん☆ワイワイまつり(略称:こどたん)」は、子どもたちがいろいろな遊びやものづくり体験を通して、自分の暮らすまち「茅ヶ崎」を知り、自分自身の可能性を発見する体験型イベントです。市民活動団体はじめ、茅ヶ崎をもっとよくしたいと活動する人たちや地元の事業者が集まり、連携・協力して、次世代に伝えたい、残したいコト、モノ、思いを届けようと、様々なワクワクドキドキ体験プログラムを企画しました。



テーマは、「こども×げんき⇒未来」

春休みの真っただ中、たくさんのメディアからも注目され、茅ヶ崎市内のみならず県内各地から大勢の子どもたちやその家族が来場しました。福祉、環境、動物愛護、防災、文化、スポーツ、国際、技術振興など、様々な分野の体験ブースが 51。会場は、開始時間前からたくさんの来場者と参加団体の熱気に包まれました。どんな体験をしようかと迷う子もいれば、チラシを手に持ち、この体験をしたい！とすでに体験先を決めてくる子もいて、人気のブースは早々に材料が品切れに！「次から次へと子どもたちが訪れ、お昼ごはんを食べる間がなかった！」と嬉しい悲鳴をあげていた参加団体の皆さん。疲れ切った表情の中にも充実感や達成感が垣間見え、「次はもっと改善、工夫したい！」と、大人たちも元気になるイベントとなりました。大好きな茅ヶ崎をもっと元気にしようと奮闘する、たくさんの素敵な大人たちと出会った子どもたちが、未来に向けて小さな一歩を踏み出すことを願っています。



つくってみよう・遊ぼう・体をうごかそう・やってみよう・動物ふれあい・学ぼう・美味しいごはん

いろんな“あそび”や“ものづくり”にチャレンジ！！



第1 体育室

昔懐かしいおもちゃづくりや遊び、デジタル機器を使ったものづくり、アートやスポーツなど、34のブースでこどもたちの“やりたい”多彩なプログラムが繰り広げられ、茅ヶ崎の様々な市民活動を知ってもらえる機会にもなりました。

- ・木工&デジタル工作・メタル加工・羊毛クラフト・ソーラークッカー・アートペイント・フラワーアレンジメント
- ・リップクリーム作り・手作りおもちゃ・マジック&バルーンアート・ほめほめ体操&ふくらむ服体験・赤とんぼ音頭
- ・IoTプログラミング・手話、点字体験・自分のからだをしろろ・自然エネルギー・ラオス体験・湘南遺産・3Dぬりえ
- ・立体ジグソーパズル・竹とんぼ・わなげ・ゴムヘリコプター・万華鏡・コマまわし・バスケットボール・ラグビー など

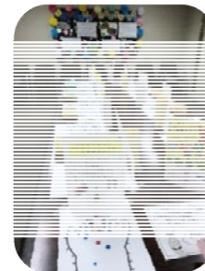


「あふれる笑顔」「真剣な表情」「元気な姿」で体験する子どもたち！



サポセン・サテライト & 相談コーナー

子どもができる・親子でできる「ボランティアや社会貢献」と「サポセン」について紹介しました。来場者には、“やってみよう！”と思う活動にシールを貼ってもらい、結果は、①使わなくなったものを寄付 ②ゴミの分別 ③困っている人を助ける④ビーチクリーン ⑤ベルマーク集め、でした。子どもたちが日常使っている物、目にする物への関心が高く、身近な行動に一步を踏み出しやすいく感じているようです。



防災クエスト

「ジャンボ防災かるた」「毛布 de 担架タイムトライアル」「持出し品なあに？クイズ」「紙食器をつくってみよう」など、防災時に身近なものが役に立つことを、遊びながら学びました。



「毛布にくるんでヨーイどん」 「かるたで備えの知識を」

前庭

13のブースが前庭を盛り上げました。ソーラークッキングや広場の木の下であそぶ「ぶるぶる忍者」、介助犬&聴導犬育成デモ、わんにゃん里親会。地元で有名な茅ヶ崎メンチカツやおにぎり、ハワイアンフード、揚げパン、大豆からあげ、チャイ などなど、美味しいごはんでお腹も心も満たしてくれました。



「外で元気いっぱい遊んで・食べて・楽しいね♪」



参加・協力団体一覧 *50音順

【参加団体・企業】

一般社団法人 アステム湘南スポーツソサエティ(アステム湘南ウィクトリアス) / 特定非営利活動法人 ウェルフェアポート湘南神奈川介助犬・聴導犬協会 / 認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき / 親子プログラミング教室 茅ヶ崎 / 建築デザインクラブ / 三翠会 / サンチャイ・ネパールねばるば / NPO 法人 しっぽのみかた / ジャオクラブ湘南 / 出張まち工場 / 手話ダンス フライングハンズ茅ヶ崎 / 精進料理研究所 はな / NPO 法人 湘南遺産プロジェクト / 湘南 SHOW 点 / 認定 NPO 法人 湘南ふじさわシニアネット / 茅ヶ崎おやお劇場 / 茅ヶ崎市視覚障害者福祉協会 / NPO 法人 ちがさき自然エネルギーネットワーク / 茅ヶ崎市聴覚障害者協会 / ちがさき竹とんぼ教室 / 茅ヶ崎ラグビースクール / 特定非営利活動法人 地球の木 / つなぎの会 茅ヶ崎 / DIY アドバイザー神奈川 / どんぐりさんの木育ひろば / NGO Habitat for Humanity 文教大学支部 / NPO 法人 Pawpads / フイケ アオ アロハ ハウオリ /

フラ ハウオリ / NPO 法人 フラワーセラピー研究会・茅ヶ崎 / ぶるぶる忍者 / Homehome Home / 防災スイッチオン！プロジェクト / MAKERSPACE / ワンストローク・ペインティング

【事業者】

KATE'S CAFE / しんちゃんのごはんやさん / なんどき牧場 / (株)松井ライフプロデュース / ミコノスキッチン / ロコ・キッチン / 茅ヶ崎金属団地〜(株)由紀精密

【協力】

アートケアひろば / 小和田推進協役員&OB 有志 / (株)K・B・S システム / (株)清光社 / 茅ヶ崎高校ボランティア同好会&OB / 茅ヶ崎西浜高校 JRC 部 / 茅ヶ崎市子連育成会 / 茅ヶ崎市総務部市民自治推進課 / 茅ヶ崎市ジュニアリーダーズクラブ / 茅ヶ崎市文化生涯学習部スポーツ推進課 / (公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団 / NPO 法人 もったいないジャパン / (有)レントオール平塚 / 個人ボランティア

スタンプラリー

「通っている学校どこにあるかな？」



「竹とんぼ、カラーライト、キーホルダーなどのおたから」



「立体動物の折り紙」



スタンプラリーは選べる7コース(こっこつ・どきどき・たったか・るんるん・さくさく・ぼわぼわ・せみぶる)。台紙の準備から看板づくり、当日ボランティアまで中・高校生ボランティアが大活躍！おたから(景品)交換所は、参加団体からの寄付でたくさんの種類のおたからが並び、スタンプを集めた子どもたちの長蛇の列ができました。中でも人気を集めたのは、複雑で難しい折り紙の立体動物。サボセン館内を朝、お掃除してくれる方がひとつひとつコツコツと時間をかけて折ってくれました。手作り品やおもちゃなど、ご提供くださった皆様、ありがとうございました！

当日、交換所近くには、市内保育所、幼稚園から小中高校までの所在地が、一目でわかるよう「ちがさきこどもまっぷ」を展示。来場してくれた子どもたちの年齢層を調査したところ、小学1年～3年生の来場が一番多かったです。

ボランティア

こどたん開催前から当日まで、たくさんの方々にお手伝いいただきありがとうございました。参加した高校生の感想を少し紹介します。

- ・人に説明したり、伝えることの大切さ、難しさを考えさせられ貴重な経験になった
- ・準備の時に作ったものが飾られていた嬉しくなった
- ・小さい子に説明する時に目線を合わせたり、易しい言葉に言い換えたり、気遣いするのが大変だったが、うまく説明できた時は、達成感を感じた。こどたんで感じたことを今後の学生生活やそれ以外の活動に於いて役立ててほしいと思います。



「たくさんの来場者に感謝」

エコステーション

寒い中、ゴミの分別指導担当をしてくださった参加団体とボランティアさん。ご協力、ありがとうございました。



「分別して環境を守ろうね」

▶参加団体の声◀

★工夫したこと：シンプルで安価なもの・お小遣いで楽しめる価格設定・幅広い年齢層、親子が短時間で楽しい体験ができるプログラム・自主性を意識させた・ゲーム性をもたせて参加意欲を上げた・こどもが少し頑張ることができるレベルを目指して企画・本物の道具に触ってもらった・待ち時間に飽きないようにした・安全に注意

★楽しかったこと、よかったこと、嬉しかったこと：たくさんの親子が時間いっぱい楽しんでくれた・若い世代に活動をPRできた・地元の認知度を上げることができた・出展者自身も楽しめた・地域の方との交流を広げられた

★困ったこと、大変だったこと：準備、片付けの机や椅子の搬入出が大変だった・参加者が多かったため用意したイス、机、道具が足りなくなった・忙しく他のブースを見られなかった・休みがとれなかった

★団体の改善点など：パネル内容や説明する際、子どもに理解できるような工夫をする・自分たちをPRする団体看板やチラシを用意する・もっと楽しくできる作品のキットづくりに更なる工夫をしたい

★主催者側への要望や改善点など：体育室の入口、出口が分かりづらかった・体育室の入退室が土足でできるように全面シートを敷く・開始と終了の時間が分からなかった・ブース番号やスタンプラリーの看板を分かりやすくする・コース別のスタンプカードだったため、該当ブースを探すのに子どもが苦労していた・準備片付け時間がもう少しほしい・会場の片付けもブースごとに割り当てがあってもよい・音楽を常時かける

★全体の感想：すごいにぎわいだった・家族と一緒に楽しんでいた・天候の心配がなかった・対象を若い世代に絞ることでイベント目的が明確化、統一感があった・こどもからお年寄りまで楽しめる和気あいあいの感じが好き・ボランティアが多く分かりやすかった・聴覚障がいの子が手話通訳を介して楽しそうに参加していたのが印象的

★次回、チャレンジしてみたいこと：100人体験・地域ならではのプログラム・地域に住む外国人が自国の文化を紹介・陸上水泳教室ワンポイントレッスン・小学校の先生とコラボ・参加団体のいくつかで、公民館などで「おでかけこどたん」を開催したら市民活動団体同士が繋がる

★その他意見：早い段階からの企画で、主催者から細やかな連絡があったので助かった・提供したおたからが喜ばれた・2020年オリンピックの年なので、世界を感じてもらおう内容を取り入れる・少子化時代に地域の子どもたちに夢を与えるイベントとは何だろう？と自問する機会となった